

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年 9月 19日
大阪地方裁判所堺支部執行係
裁判所書記官 皿 海 光 歩

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

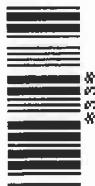
記

入札期間	令和 7年 10月 8日から 令和 7年 10月 16日まで	
開札期日	日 時 場 所	令和 7年 10月 23日 午前 10時 00分 大阪地方裁判所堺支部売却場
売却決定 期日	日 時 場 所	令和 7年 11月 6日 午前 10時 00分 大阪地方裁判所堺支部執行係
買受申出の保証の 提供方法	<p>下記のいずれかによる。</p> <p>(1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。</p> <p>(2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。</p>	
買受申出の資格の 制限 (民事執行規則 33条)	<p>☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。</p>	
<p>一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年 9月 19日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。</p> <p>入札期間の最終日の受付は午後 5時までです。</p>		



物 件 目 錄

- 1 所 在 河内長野市清見台二丁目
地 番 484番156
地 目 宅地
地 積 184.01 平方メートル
- 2 所 在 河内長野市清見台二丁目 484番地156
家屋 番号 484番156
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 67.90 平方メートル
2階 46.37 平方メートル



物 件 明 細 書

令和 7年 7月 16 日
大阪地方裁判所堺支部執行係
裁判所書記官 皿 海 光 歩

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 錄

1 所 在 河内長野市清見台二丁目
地 番 484番156
地 目 宅地
地 積 184.01平方メートル

2 所 在 河内長野市清見台二丁目484番地156
家屋 番号 484番156
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 67.90平方メートル
2階 46.37平方メートル



令和 7年(ヶ)第 57号
令和 7年 5月 14日受理
令和 年 月 日提出
7.6.10

現況調査報告書

大阪地方裁判所堺支部

執行官 谷本雅則

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 錄

- 1 所 在 河内長野市清見台二丁目
地 番 484番156
地 目 宅地
地 積 184.01平方メートル
- 2 所 在 河内長野市清見台二丁目484番地156
家屋 番号 484番156
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 67.90平方メートル
2階 46.37平方メートル



不動産の表示	「物件目録」のとおり	
住居表示	大阪府河内長野市清見台2丁目20番4号	
土地	物件1	
現況地目	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地(物件1) <input type="checkbox"/> 公衆用道路(物件) <input type="checkbox"/> (物件)	
形状	<input type="checkbox"/> 公図のとおり <input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 地積測量図のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図(概略)のとおり
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 土地所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり	
下記以外の建物(目的外建物)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外建物の概況」のとおり)	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
建物	物件2	
種類、構造及び床面積の概略	<input checked="" type="checkbox"/> 公簿上の記載とほぼ同一である <input type="checkbox"/> 公簿上の記載と次の点が異なる(<input type="checkbox"/> 主たる建物 <input type="checkbox"/> 附属建物) <input type="checkbox"/> 種類: <input type="checkbox"/> 構造: <input type="checkbox"/> 床面積:	
物件目録にない附属建物	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	種類: 構造: 床面積:
占有者及び占有状況	<input checked="" type="checkbox"/> 建物所有者 <input type="checkbox"/> その他の者 上記の者が本建物を住居(空き家)として使用している <input type="checkbox"/> 「占有者及び占有権原」のとおり	
上記以外の敷地(目的外土地)	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(詳細は「目的外土地の概況」のとおり)	
その他の事項	「その他の事項」のとおり	
執行官保管の仮処分	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
土地建物の位置関係	<input type="checkbox"/> 建物図面(各階平面図)のとおり <input checked="" type="checkbox"/> 土地建物位置関係図(概略)のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

1 表札等の表示

- (1) 表札の表示 所有者（相続財産）の亡被相続人の氏
 (2) 郵便受けの表示 なし（表札とほぼ一体）

2 目的土地の現況について

- (1) 目的土地について、地積測量図等を参考に適宜概測したところ、その形状は別紙土地建物位置関係図（概略）のとおりであり、地積は公簿面積とほぼ一致すると思われるが、一部計測困難な部分があり、かつ、あくまで概測によるため正確には専門家による測量等を要する。
- (2) 目的土地は目的建物の敷地となっており、別紙土地建物位置関係図（概略）のとおりカーポート等がある。なお、同地上にある樹木の枝葉が道路にはみ出している。
- (3) 目的土地の東側から南東側にかけて接する道路は、幅員4m以上の建築基準法上の道路である。

3 目的建物の現況について

- (1) 目的建物の形状は別紙間取略図のとおりであり概ね公簿面積と一致する。
- (2) 室内の状況は別紙添付写真のとおりであり、冷蔵庫や洗濯機その他の家財道具及び日常生活用品等の動産類がほとんど見当たらず、郵便受けは郵便物等で満杯、蛇口を捻っても水が出ず水回りが乾いていたなど、相当期間使用されていない様子が窺われる。
- (3) 次のような不具合がみられるほか、随所に内壁等の汚れや変色が目立つなど経年（37年位）とも相まって劣化、損耗が著しい状態にあると思われる。
- ア 2階の外壁に亀裂がある。
- イ 1階洋室壁のスイッチカバーがない。
- ウ 流し台下の収納の一つの引出しに前面の板がなくダンボール紙を貼っている。
- エ 浴室の扉が閉まりきらない。
- オ 2階中央の洋室の窓下の壁に亀裂のような線がある。
- カ 2階西側洋室の壁に陥没のような損傷がある。

- 4 その他の状況について 目的土地の南西側隣地はゴミ置場になっている。以上

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■所有者代表者（相続財産清算人）	<p>1 目的建物は被相続人が亡くなってから家族も転居し、現在だれも住んでいない状態です。</p> <p>2 目的建物の鍵は被相続人の家族が失くしてしまったようで、私の手元にはありません。</p> <p>3 被相続人は目的物件内で亡くなったのではないと聞いています。</p>

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(4枚目)

執 行 官 の 意 見

目的物件の占有関係

関係人の陳述、提示文書および立入調査の結果から、目的建物は所有者が住居（空き家）として使用、占有しているものと認める。

以 上

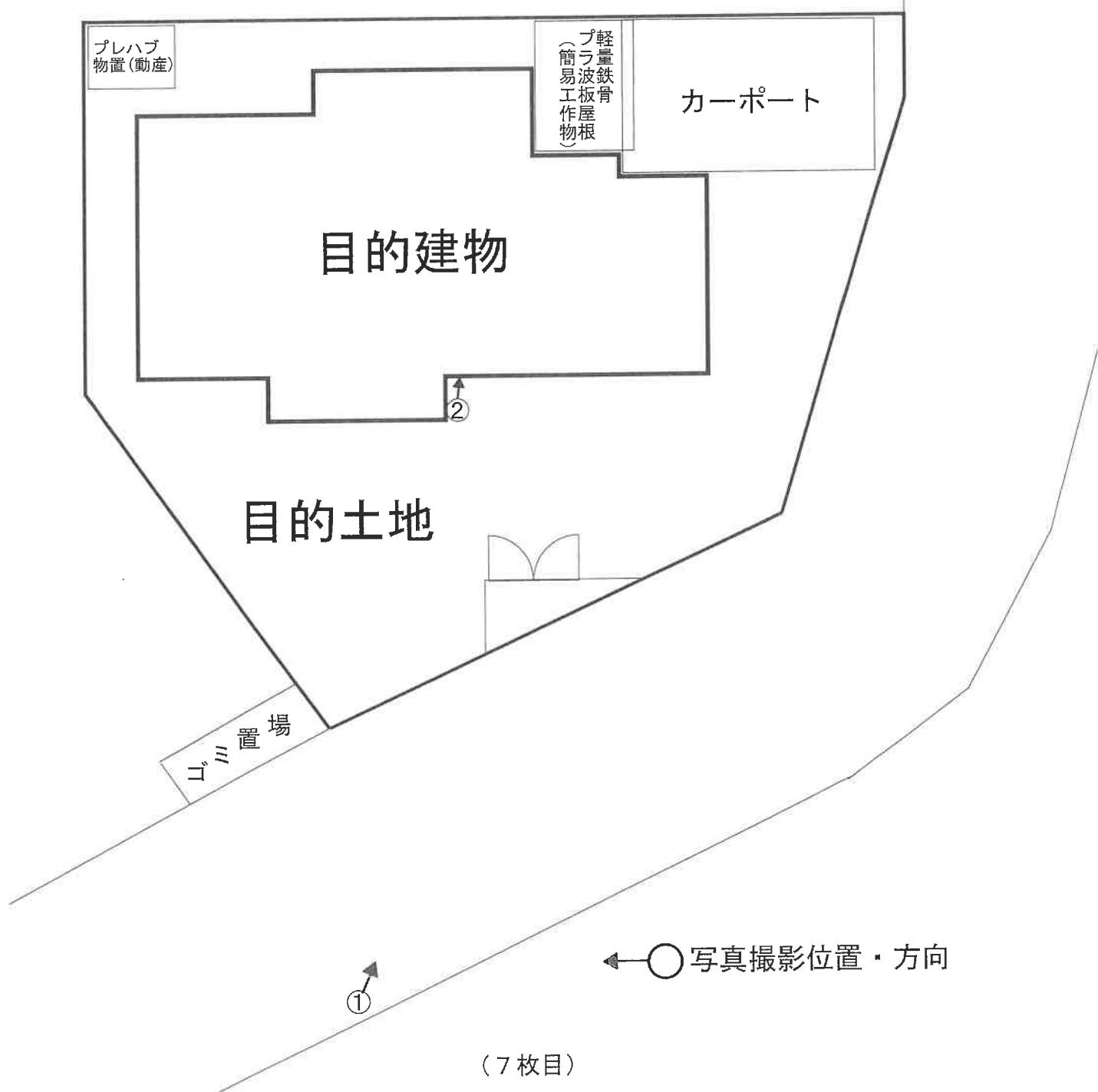
調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
R7年 5月15日 10:50—10:55	執行官室	所有者代表者に電話して事情聴取
R7年 5月15日	執行官室	所有者代表者に照会書送付(回答あり)
R7年 5月21日 14:00—14:20	大阪法務局富田林支局	公団等調査
R7年 5月21日 14:45—15:00	物件所在地	物件及び占有調査(不在)
R7年 5月21日 15:15—15:20	河内長野市役所	道路関係調査
R7年 5月30日 13:25—14:15	物件所在地	立入調査(評価人帯同, 解錠)
年 月 日 : — :		
年 月 日 : — :		
(特記事項)		
<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。		
<input checked="" type="checkbox"/> 令和 7年 5月30日 目的物件は不在で施錠されていたので、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。		
<input type="checkbox"/> 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。		
<input type="checkbox"/>		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

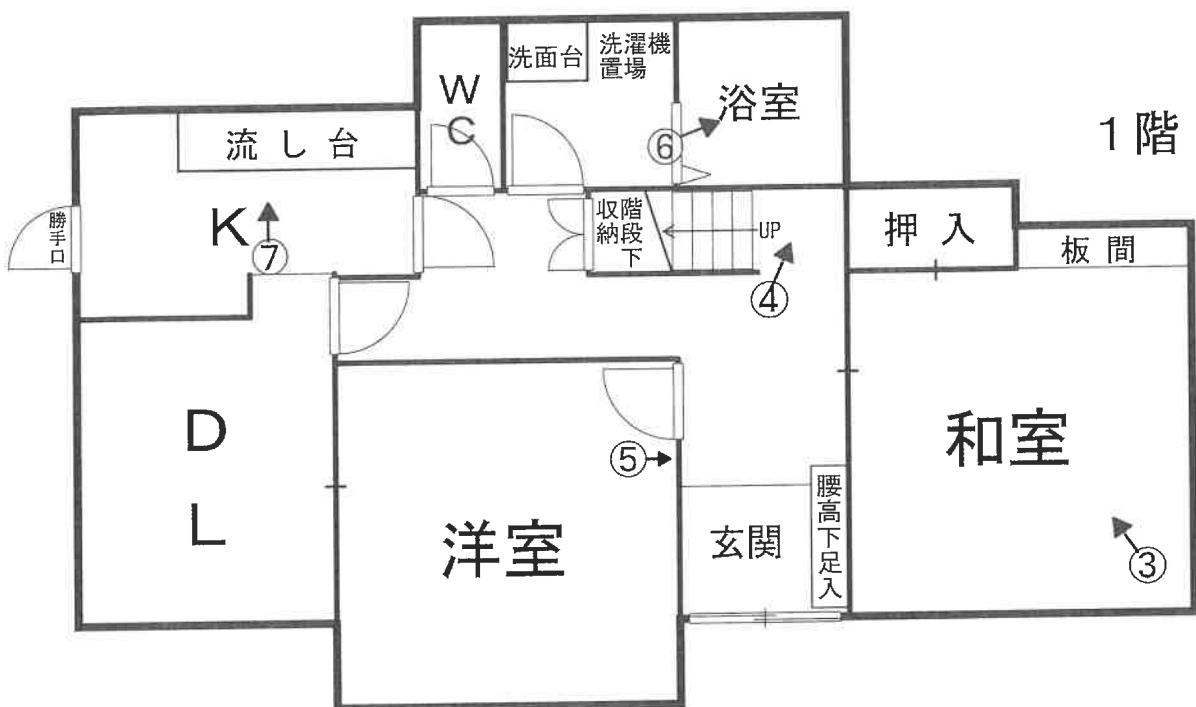
(6枚目)

土地建物位置関係図（概略）

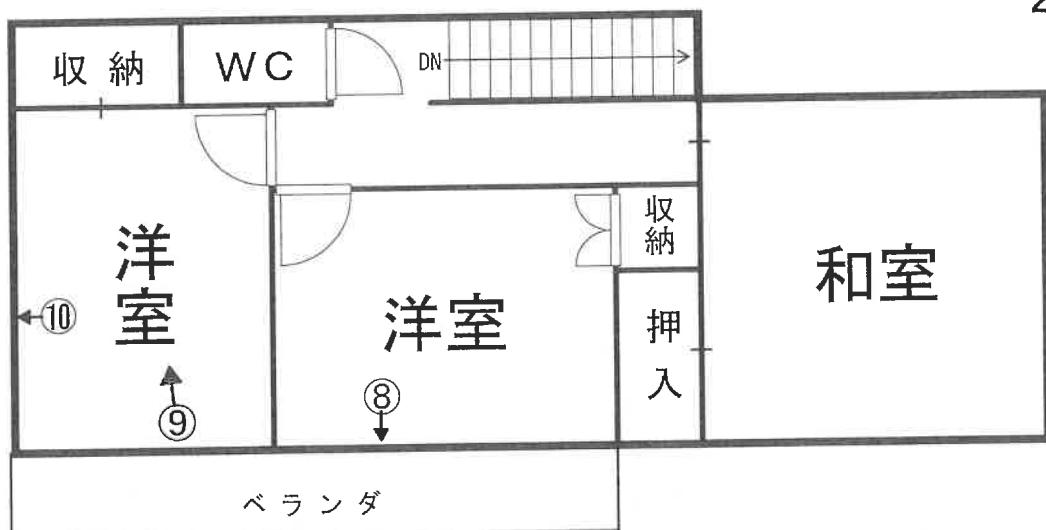
道路



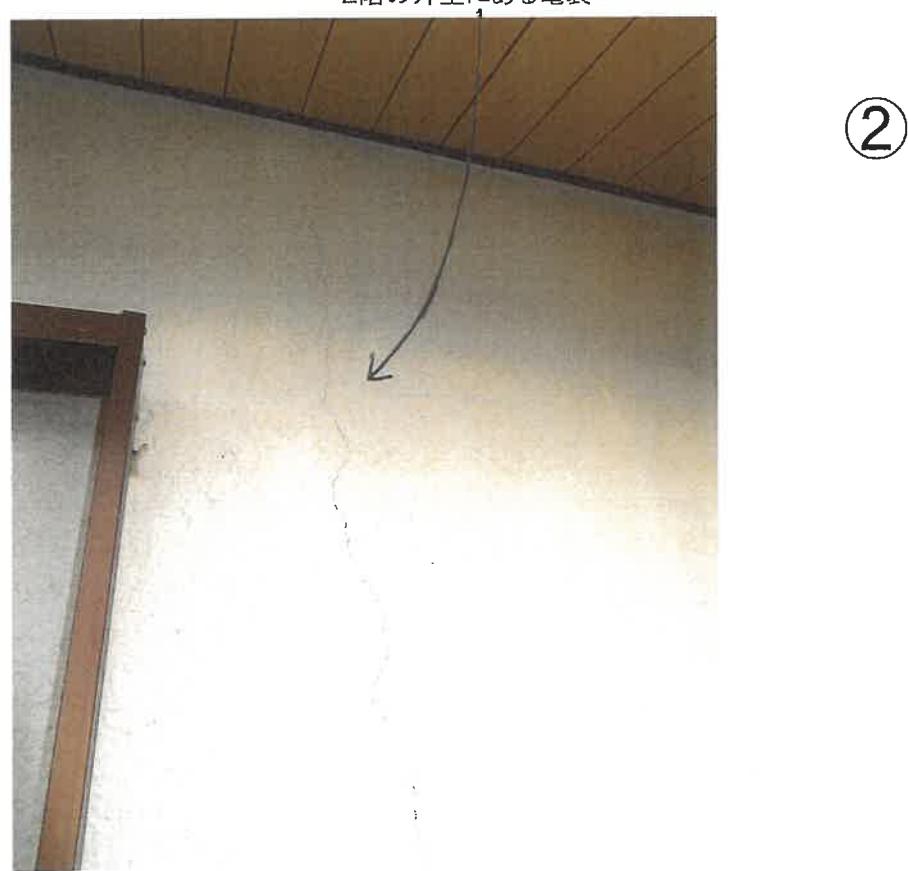
間取略図



2階



写真撮影位置・方向



(3)



全体的な壁の汚れ又は変色

(4)



スイッチカバーの欠損

(5)



(6)



(11 枚目)

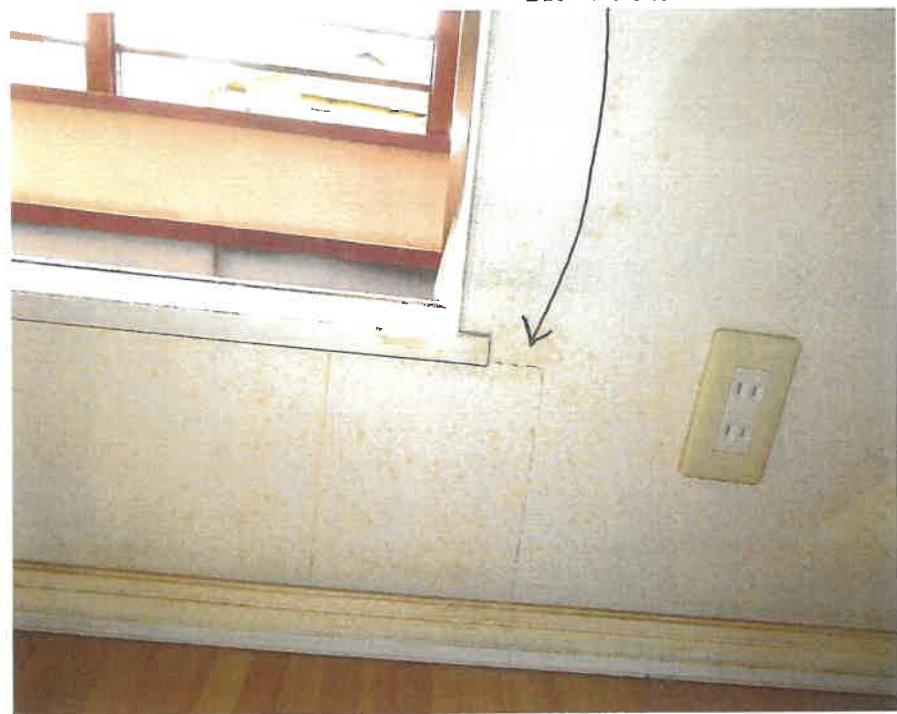
段ボール紙で補修された引出しの前面

(7)



亀裂のような線

(8)

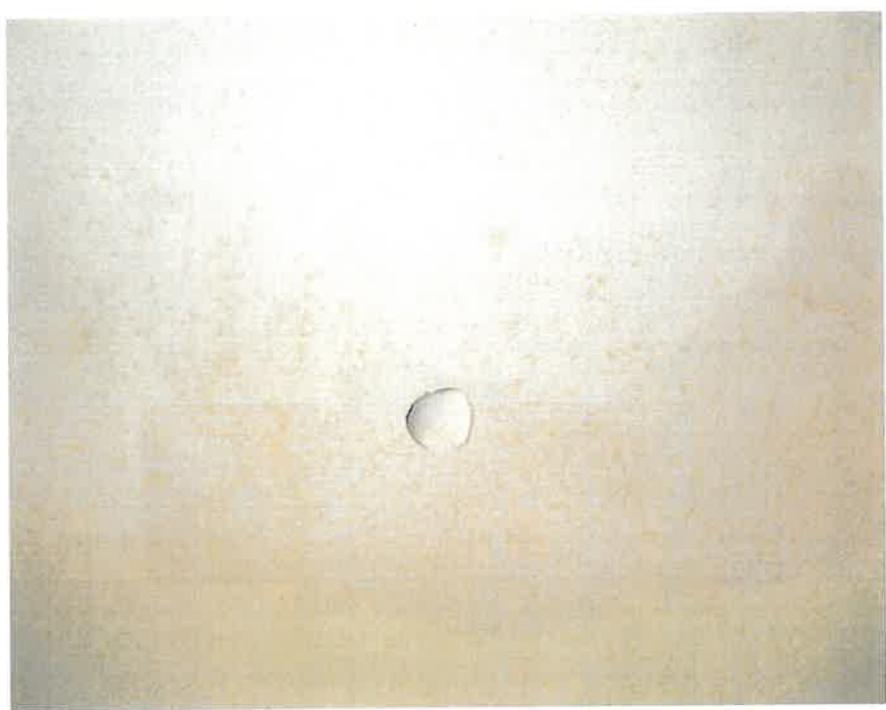


⑨



壁にある陥没したような損傷

⑩



令和7年（ヶ） 第57号
令和7年5月30日 現地調査
令和7年6月26日 評 価

大阪地方裁判所 堺支部 御中

評 価 書
(土地付建物)

評価人 不動産鑑定士

高橋 智美

第1 評価額

一括価格	
金 5,630,000円	
内訳価格	
物件1	金 2,560,000円
物件2	金 3,070,000円

- 1 一括価格は、物件1、2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の内訳価格は物件2のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の要因（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 地 番 地 目 地 積	物件目録記載のとおり	登記内容と概ね一致した。
2	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	物件目録記載のとおり	登記内容と概ね一致した。
番号	特 記 事 項		
1、2	<ul style="list-style-type: none"> ・目的土地の北東部分にカーポートが、北西部分にプレハブ物置(動産)が存した。 ・目的土地の樹木が上空で道路に越境している。 ・目的土地の南西側隣接地(地番484番161、三方をコンクリートで囲われた長方形地)は、ゴミ集積場として使われていると考えられる。 ・その他、現況調査報告書記載のとおりである。 		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位置・交通	南海高野線 (別添「位置図」参照) 最寄バス停 南海バス 川上小前バス停 北東方 道路距離 約1.6km
付近の状況	中規模一般住宅が建ち並ぶ住宅地域。地域に特段の変動要因はなく、今後も現状を維持するものと思料する。
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 市街化区域
	用途地域 第一種低層住居専用地域
	建ぺい率 40%
	容積率 80%
	防火規制 法22条区域 その他の規制 北側斜線・外壁後退1m・高さ制限10m・第一種高度地区・宅地造成等工事規制区域・建築協定区域(清見台住宅地区)
画地条件	規模 184.01 m ²
	形状 不整形
	間口・奥行 間口約21m(南東側及び東側)・奥行約16.9m(最長)
	高低差等 目的土地は角地であり、南東側道路の玄関付近及びカーポート部分は道路と概ね等高であるが、その他の南東側道路及び東側道路では目的土地は約0.6m本件敷地が高い。また、西側隣接地は目的土地と概ね等高であり、北側隣接地は目的土地より約0.3m高くなっている。
接面道路の状況	南東側 幅員約4.5m 蘆装 市道(建築基準法第42条1項1号)
	接道状況 角地
土地の利用状況等	現況 物件2の一般住宅の敷地
	南東側及び東側 市道
	北側 一般住宅
	西側 一般住宅
供給処理施設	上水道 あり
	ガス配管 あり
	下水道 あり(処理区域内)
	(注) 供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管(以下、「施設管」という。)が通っており、通常の費用で敷地内への引込みが出来る状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。
土壤汚染等	土壤汚染対策法等、特定施設に係る公的資料調査、土地の閉鎖譲本、昭和56年の住宅地図による限りにおいては、土壤汚染の可能性は確認できなかった。土壤汚染の有無及びその内容について確実な情報を得るには、土壤汚染調査会社による正式な(専門)調査を要する。
特記事項	・その他前記特記事項参照

2 建物の概況及び利用状況等（物件2）

区分	主である建物	
建築時期及び 経済的残存耐用年数等	建築年月日 経過年数	(登記記載) 昭和63年2月19日新築 約37年
	経済的残存耐用年数	約0年
仕様	構造	木造
	屋根	瓦葺
	外壁	吹付タイル・モルタル等
	内壁	クロス等
	天井	クロス・テックス等
	床	畳、合板等
	設備	電気、給排水、衛生等
	その他	—
床面積（現況）	延 114.27m ² 増築はなく、登記と現況数量は同じである。	
現況用途等	階層	2階建
	現況用途	居宅
	間取り	5LDK
品等	普通	
保守管理の状態	劣る	
建物の利用状況	現況調査報告書のとおり	
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・現在空家である。 ・建物内全体に壁、床、天井等に亀裂、クロスの剥がれ、汚れ、変色等が見受けられた。また、外壁にも亀裂が見受けられた。以上から、経年(37年位)とも相まって劣化、損傷が著しい状態にあると思われる。 ・本件建物の設備等の稼働の状況を確認したものではない。 ・本件建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。 ・建築計画概要書あり。完了検査済である。 ・その他前記特記事項参照 	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 物件1（土地）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件番号	標準画地価格 (円／m ²) ア	個別格差 イ	地積 (m ²) ウ	建付減価 エ	建付地価格(円) (千円未満四捨五入) オ(ア×イ×ウ×エ)
1	47,700	1.04	184.01	0.80	7,303,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価調査 河内長野（府）-7

$$\begin{array}{ccccc} \text{基準地価格等} & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} \\ 50,100円／m^2 & \times 100.0/100 & \times 100/100 & \times 100/105 & = 47,700円／m^2 \end{array}$$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：	接面・方位	規模	形状	その他	総合(相乗積)
	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00

◇地域格差：	街路	接近	環境	行政	総合(相乗積)
	1.03 幅員	1.02 駅距離	1.00	1.00	1.05

イ 個別格差：	接面・方位	規模	形状	その他	総合(相乗積)
	1.06 方位(角地含む)	1.00	0.98 不整形	1.00	1.04

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：建物の築年数や損傷状態等を考慮した。

② 物件2（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件番号	再調達原価 (円／m ²) ア	現況延面積 (m ²) イ	現価率 ウ	建物の価格(円) (千円未満四捨五入) エ(ア×イ×ウ)
2	160,000	114.27	0.04	731,000

ウ 現価率

経過年数 約37年

経済的残存耐用年数 約0年

観察減価 30%

残価率 5%

耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を査定した。

$$\begin{aligned} \text{現価率} &= \{ \text{残価率} 5\% + (1 - 0.05) \times \text{経済的残存耐用年数} 0\text{年} / (\text{経過年数} 37\text{年} + \text{経済的残存耐用年数} 0\text{年}) \} \times (1 - 0.3) \\ &= 0.04 \end{aligned}$$

※観察減価は中古建物に係る市場の特性等を考慮して査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件番号	建付地価格 (円)	土地利用権等割合		土地利用権等価格 (円) (千円未満四捨五入)
	ア	イ	ウ (ア×イ)	
1	7,303,000	0.50	法定地上権	3,652,000

② 内訳価格及び一括価格

物件番号	基礎となる価格 (円) (1①オ, 1②エ)	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ)	占有減価 イ ウ	市場性修正 エ オ	競売市場修正 オ カ	その他の控除減価 (敷金等) (円) キ [(ア×イ) ×ウ×エ×オーカ]	評価額 (円) (万円未満四捨五入)
1	7,303,000	- 3,652,000		1.00	0.70		2,560,000
2	731,000	+ 3,652,000	1.00	1.00	0.70	0	3,070,000
一括価格 (合計)							5,630,000

ウ 占有減価

本件の場合不要。

エ 市場性修正

本件の場合不要。

オ 競売市場修正

第2の「評価の条件」欄記載の不動産競売市場特有の要因を考慮のうえ、競売市場修正率を0.70と決定した。

カ その他の控除減価 (敷金等)

本件の場合不要

第6 参考価格資料

1 地価調査 河内長野（府）－7

所 在 : 河内長野市日東町623番167「日東町22-4」
価 格 : 50,100円／m²
位 置 : 南海高野線 南海三日市町駅 北東方 約1.2km（道路距離）
価格時点 : 令和6年7月1日
地 積 : 224m²
供給処理施設 : 水道、ガス、下水
接面街路 : 北 6.0m 市道
用途指定等 : 第1種低層住居専用地域（建ぺい率50%、容積率100%）、法22条区域
地域の概要 : 中規模一般住宅が建ち並ぶ区画整然とした住宅地域

2 固定資産税評価額（令和7年度）

物件1 : 4,961,645円
物件2 : 1,997,149円

第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図
- 3 地積測量図
- 4 建物図面
- 5 間取略図

以 上

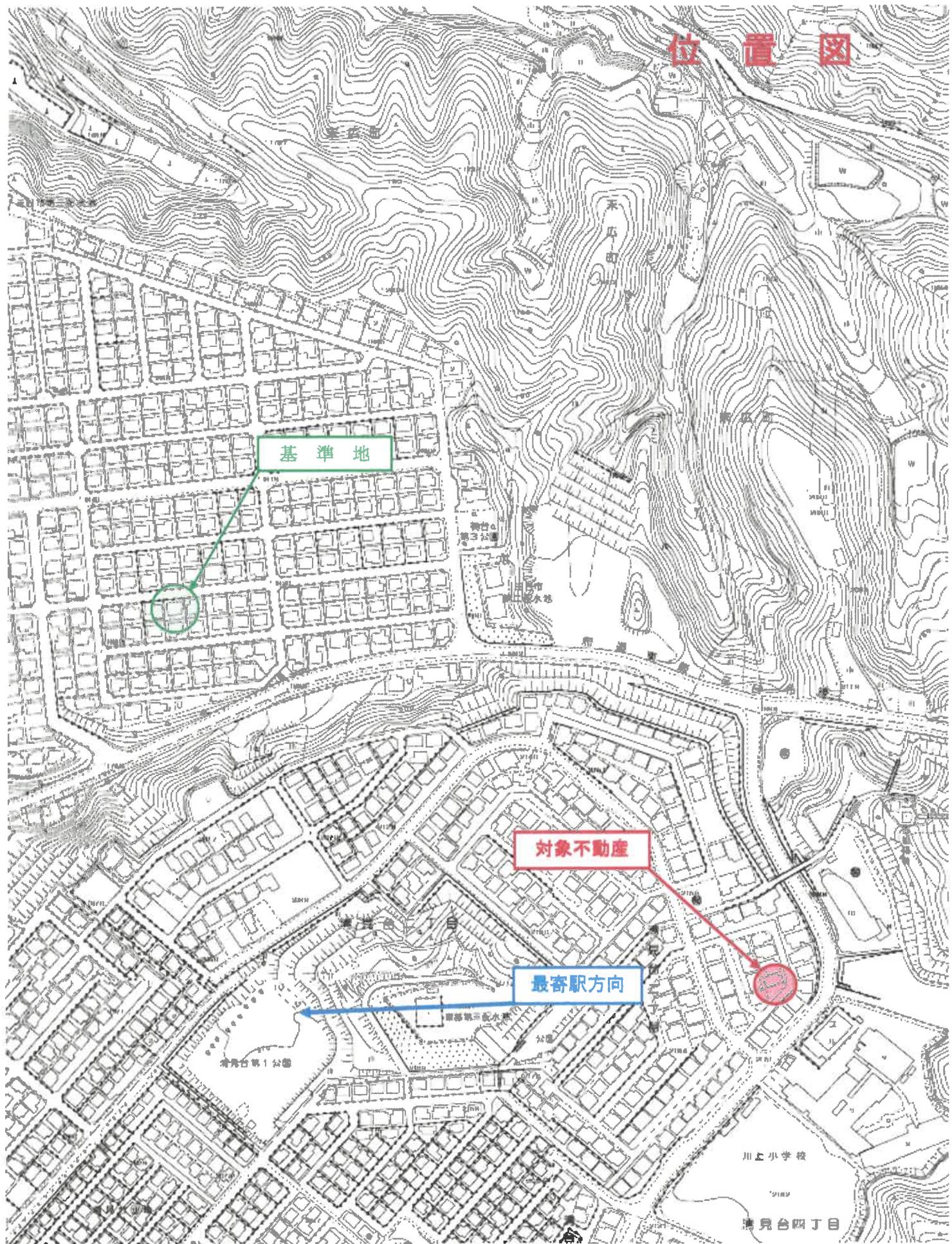
物 件 目 錄

1 所 在 河内長野市清見台二丁目
地 番 484番156
地 目 宅地
地 積 184.01平方メートル

2 所 在 河内長野市清見台二丁目484番地156
家屋 番号 484番156
種 類 居宅
構 造 木造瓦葺2階建
床 面 積 1階 67.90平方メートル
2階 46.37平方メートル



位置図



公 図 (写)



地番区域見出
清見台2丁目
4丁目
名鑑素

請求部分	所在	河内長野市清見台二丁目				地番	484番156	
出縮尺	縮尺不明	精度区分	座標系番号又は記号	分類	地図に準ずる図面			種類 その他
作成年月日	昭和61年5月1日			備付年月日 (原図)	補記項			

各階平面図

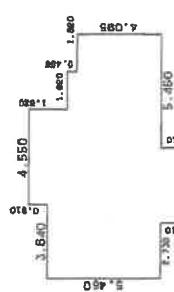
0674644

家屋番号 0674644 建物図面 59-2

登記年月日 484-156 S.63.4.1.

建物の所在 河内長野市湯見台2丁目484-156

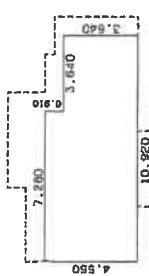
1階



求積表

		=	
0.910 × 4.650	=	4.146500	
0.910 × 8.190	=	7.459900	
0.455 × 10.010	=	4.554850	
4.095 × 11.830	=	46.443850	
0.910 × 3.640	=	3.314000	
0.910	合計	67.904200	
	床面積	67.90	m ²

2階



求積表

		=	
0.910 × 7.280	=	6.624800	
3.640 × 10.920	=	39.373600	
	合計	46.373600	
	床面積	46.37	m ²

A4判に縮小

1/250	申請人	1/500
-------	-----	-------

(昭和63年3月25日作成)	縮尺	1/250
----------------	----	-------

間取略図

